



教室の窓から 5年2組

先週13日(金)の3時間目の教室を窓から見ていると、5年2組で道徳科の授業が行われていました。教科書の「クールボランティア」という題材をもとに、「ボランティア活動を支える心」について考える授業をしていました。話のあらすじは「登場人物の信二は、ボランティアの計画を考えていて、『かっこいいボランティア』=『クールボランティア』と思い、大々的なことをしようとしていた。

学校帰りに、青年海外協力隊で活躍し信二の憧れの西田さんが、歩道橋の掃除のボランティアをしていた。信二も手伝うことを促され、『これが、クールボランティアだよ。』と西田さんから言われ、その意味をじっと考え始めた。』というものです。子供たちは西田さんから「クールボランティア」の意味を問われた信二になり切って「こんなにスッキリするなんて知らなかった。」「かっこいいことばかり考えていたけど、小さなことから大きなことまで、いろんなクールボランティアがある。」と役割演技を通してボランティアの意味を考えていきます。そして、これからの自分を見つめて「ぼくはボランティアについてあまり考えて行動していなかったけど、これからは、どんな所をきれいにするか、人が多い所は本当にそこに手は必要か、他の場所はやらなくていいのかなど考えてボランティアをしたいです。」「私はこの勉強をして、これからもっとみんなのためにできるようなことを考えようと思いました。」「私はボランティアにもっと積極的になろうと思いました。小さなこともとても素敵でかっこいいことが分かったし、6年生も見えない所までよく考えてやっていることを知ることができました。そんな6年生を見習いたいです。」と実践への意欲を高めていました。



帯西伝承の日

14日(日)には、地域の青少協と社協の主催行事、「帯西伝承の日～もちつきとふれあい遊び」が開催されました。もちつきや豚汁づくりのために、たくさんの方が事前に来校され、家庭科室等で下準備をされていました。当日も朝早くから準備をしてくださり、食生活改善推進員の皆さんの手による豚汁に、多くの方が舌鼓を打ち、「美味しい。美味しい。」という声が聞かれました。豚汁は、防災用の大鍋で作られ、食改の皆さんの絶妙な味付けにより、風味豊かな豚汁でした。お餅は、80kgの餅米がセイロの中で蒸されて、次々と石臼の中に運ばれて、リズムよく杵で突かれ、出来上がっていききました。また、昨年度は雨のために中止になった外遊びも今年は大盛況で、フラフープ、リム回し、竹馬、羽根つき、輪投げなど子供たちは興味のある遊びを体験することができました。また、4年生以上の子供は、グランドゴルフを体験し「簡単そうに見えたけど、意外と難しい。だけど楽しい♪」と言っていました。

社会がますます複雑多様化し、地域における連帯感や人間関係の希薄化が進む等、子供たちを取り巻く環境が大きく変化しています。帯西伝承の日のように、地域の方々のかかわりは、一生涯、ふるさとを愛する心の基盤となるものです。お尽力いただいた地域の方々、子供会の皆さん、そしてPTAの方々、ありがとうございました。

